

健診部 小原 秀一

日本には、慢性腎臓病の患者さんが1300万人以上いると推計されています。

慢性腎臓病があると、腎臓の働きが徐々に低下して、尿を十分につくれなくなります。余分な水分や塩分、老廃物が体内にたまり、かなり進行した段階になって初めて、むくみやだるさなどの自覚症状が現れます。慢性腎臓病の原因は生活習慣病（糖尿病、高血圧など）、腎臓自体の病気（慢性腎炎など）、加齢があります。慢性腎臓病が進行するにつれて、脳卒中や心不全などを発症しやすくなっていきます。このような危険な病気を防ぐために、慢性腎臓病は早期発見することが重要です。

早期発見のために血液検査や尿検査を毎年受けることが大切です。腎臓の働きが低下すると、老廃物などが十分に排泄されなくなり、体内に蓄積します。そうした老廃物の1つがクレアチニンで、血液検査で調べることができます。血清クレアチニン値から、eGFRという値が推算されます。eGFRは、腎臓がどの程度働いているかを表しています。eGFRが60未満の場合は、慢性腎臓病が疑われます。

尿検査では、尿中のたんぱくをチェックします。慢性腎臓病で腎臓の働きが低下していると、血液中のたんぱくが尿中に漏れ出します。これをたんぱく尿といいます。たんぱく尿の結果は（-）、（±）、（1+）、（2+）で表されます。（-）の場合は正常で、それ以外の場合は慢性腎臓病が疑われます。（NHKテキストきょうの健康2月号）



*4月からの内科・外科外来診療について

午後の診療は予約外来のみとなります。

*ゴールデンウィーク期間中の外来診療について

2019年ゴールデンウィーク（4月27日（土）～5月6日（月））は10連休となりますが、5月2日（木）は診療します（一部休診科もありますので、詳細はお問い合わせください）。

■問い合わせ 仁淀病院 ☎ 893-1551



高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種について

■問い合わせ ほけん福祉課 ☎ 893-3811

吾北総合支所住民福祉課 ☎ 867-2300

本川総合支所住民福祉課 ☎ 869-2114

町では高齢者肺炎球菌予防接種費用の一部を助成しています。

平成31年度の対象者は次の方で、対象の方には4月上旬に個別通知をお送りします。

接種を希望される方は、必ず同封の説明文書を読んだうえで、予診票（びわ色の用紙）を使用して接種してください。

◇平成31年度対象者

過去に高齢者肺炎球菌ワクチン（23価）を接種したことが無く、次の生年月日の方

65歳相当の方（昭和29年4月2日～昭和30年4月1日生）

70歳相当の方（昭和24年4月2日～昭和25年4月1日生）

75歳相当の方（昭和19年4月2日～昭和20年4月1日生）

80歳相当の方（昭和14年4月2日～昭和15年4月1日生）

85歳相当の方（昭和9年4月2日～昭和10年4月1日生）

90歳相当の方（昭和4年4月2日～昭和5年4月1日生）

95歳相当の方（大正13年4月2日～大正14年4月1日生）

100歳以上の方（大正9年4月1日生まれ以前）

◇自己負担額

2,000円（生活保護受給者は、接種前の申請で無料になります。）

◇その他

※接種時点で60歳から64歳で、身体障害者手帳1級程度の方も対象となる場合があります。事前にお問い合わせください。

※助成を利用できるのは「対象の年度に1回のみ」です。